

意見交換会概要

日時	平成25年 5月 18日（土） 19 : 30 ~ 21 : 00
場所	青谷地区公民館
参加者数	約25人
出席者	長谷川参事、校区審議室（神谷、小谷、清水）、土橋副支所長、森主幹

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	小中一貫校としてやっているところはあるのか。一貫校として何年経過しており、どんな効果をもたらされたのか。保護者の意見等を取りまとめているのか。
参加者 B	学校統合は考えていない。最終的には小中一貫校を目指してほしいという気持ち。そこで質問だが、小中通じての指導に際し、資格等の問題は生じないのか。
参加者 A	NHKで見たが高知県の榑原（ゆすはら）学園の特集を見たが、小学校7年生の算数の授業を中学校の数学の先生が教えていた。中学校のレベルに対応できるよう小学校から慣らしておくなどのメリットがあるように思える。
参加者 A	統合となると通学方法はなるのですか。JRで通学を想定という話があったが、運賃も発生するし親としては経費についても問題。具体的に教えてほしい。
参加者 D	統合案を作る段階で勝部、日置から出てくる子のことを想定しているのか。通学距離が延びることは身体的、時間的なことを考えても子どもには負担となるし、浜村に住む子どもと比べても、環境的に不利となる。勝部、日置の子に対し部活が充実するといっても通学時間を勘案すれば時間的制約も多く、部活に割く時間も短くなる。教育的に考えても不平等ではないか。義務教育の期間は公平、平等となるよう学校を配置することが必要。
参加者 C	P T Aでアンケートを取ろうと思っているが、資料にも出ているように統合すると地域の活力がなくなり、青谷の今後が心配。個人的には、将来的に小中一貫校を希望する。
参加者 E	いつ審議され答申するといったスケジュールが示されていないため、内容が不明瞭。また資料は統合を進めるよう誘導する内容になっている。詳細な情報がないと、比較検討するなど論理的な議論ができない。個人的には学校統合をすべきではない。子どもの将来のことももちろんあるが、学校がなくなると地域は疲弊する一方。学校は子どもだけでなく地域のためのものでもある。地域振興もセットにして議論すべきもので、庁内でプロジェクトチーム等つくるなど必要でないか。
参加者 F	資料を見ると、選択肢はあるものの「統合がいい」という内容になっている。規模が小さいから統合するというのは安易な考えである。適正な規模とうたっているものの一面的な見方で、教育的効果も鵜呑みにはできない。部活動にも触れられているが、部活動を充実させるために統合するという考えは趣旨が違うのではないか。学校はこの地に残してほしいし、学校と地域は一体のもの。この二つが疎遠となることは問題である。納得いく説明をしてほしい。

意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者 G	美萩野の住む子は湖東中学校へ通っているらしいが、通学方法、助成はどうなっているか。遠距離通学は負担になるが、そのデータはないのか。小中一貫校の話も出ているが、環境が変わらなければ周りからレッテルを貼られた場合9年間引きずることにもなりうる。卒業で人間関係を改めるといったことも必要だ。また適正規模は学年で2学級～6学級が望ましいとなっているが、適正規模にこんなに開きがあるのはおかしいじゃないか。
参加者 H	現在1歳の子を持つ親として、中学校入学時には25人の1クラスという環境となる。変化のない教育環境は考え方や評価が固定化する。多くの人数の中で切磋琢磨し多種多様な価値観に触れることが重要と思うので、高校入学でいきなり同級生が増えるという状況は大丈夫かなと思う。友達もできるかなと心配になる。段階的にクラスメートが増えていく環境が理想的であるため統合には賛成です。
参加者 D	今年の4月から地区公民館長となったが、小学校を統合して公民館行事等がやりにくくなった。参加率も悪くなる一方という状況。もし仮に統合とするならば、子どもも通学時間を拘束され、地域の活動にも支障が出るのは間違いない。今後の地域のことを考えたら不安がつきまとう。だからと言って統合はダメとはいえない。保護者の意見は尊重されるべきであるので……。この状況に危惧している。
参加者 C	この学校統合の話は、校舎を耐震改修しても改築しても財政的に出費を伴う。だから金銭面の問題から統合の話を持ち出したのだろう。
参加者 A	生徒数が増えているような校区はあるのか。現時点の子供の数値によって予想がたてられているが、山陰道がつけばベッドタウン化も期待され通勤も可能となるため定住者も増える。青谷地域の人口減少もインフラ整備で緩やかになる可能性はあるのではないかと。統合のデメリットにある「地域の活力が無くなる」というのは確実なこと。自分も8年前に青谷町に移ってきたが、青谷に住もうと決心したのは小学校と中学校があることもポイントにした一つ。もし引っ越す前に統合していたら、青谷でなく浜村に住んでいただろう。統合すると若者は出て行き、高齢者率の増加に拍車をかける。
参加者 E	鹿野では3回、気高では2回意見交換を終えているとのことだが、意見の要点を紹介してほしい。今日というわけにもいかないだろうから、今度開かれるであろう意見交換会には関係する気高3町の意見は公開すべき。HP上で校区審議会の議事概要等見ていると、あと数回開かれるような記述もあった。また、改築したら20年間以上は校舎を使ってほしいという話だが、中学校施設に小学校が入るといった可能性はないのか。
参加者 F	八頭郡の河原中学校や用瀬佐治の新中学校の規模を考えると校区審議会が定めた「適切な学校規模」とは言えず、教育委員会の方針も一貫していない。そう考えると、今現在で青谷中学校が話題に上がることさえ腑に落ちない。
参加者 E	統合中学校を青谷に持ってくればいい。
参加者 D	今使われていない日置谷小学校は校舎も新しく耐震も十分だろう。トンネルでつないだら鹿野、気高からも容易に通学できる。

意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者 J	統合が決まったら通学などの諸条件を考えると、親にとっては通学などは重要事項。できれば統合が決まる前に考えたいのでデータがほしい。個人的な意見としては小中一貫校がいいとおもう。こういったことは大人中心でなく子供中心に考えるべきで、将来的には子は親となるのだから。子供に対しアンケートを取る等の可能性はないのか。
参加者 K	資料を見ると3校が対等な立場での対等な統合はメリットで、既存校を使い統合すること、いわば「編入」はマイナスイメージでデメリットとしてあげられている。教育的観点からみると編入はデメリットではない。青谷小学校を統合するとき、この編入のマイナスイメージのため廃校となる4小学校のPTAともめた経緯を思い出す。編入イコールデメリットという資料を修正すべき。
参加者 D	浜村小が青谷と鹿野の中間位置として統合中学校の位置に提案されたのだろうが、プロジェクターを見ると、これは学校施設位置を中心に考えられているとしか思えない。勝部や小鷲河に住む生徒、通学する生徒を中心として考えた位置なのか。
参加者 G	適正規模は6～18学級とあるが学年にすると2～6学級という。これは気高郡を統合した中学校の予想される学級数から逆算してはじいた適正規模ではないか。本来、適正規模をうたうなら3、4学級とか近い数値設定するもので、このような理想とされる2～6学級という規模は開きがある設定はないだろう。おかしい。
参加者 E	千代南中学校は5学級で規模も適正な学校規模と言えないのに校舎を新築中という。千代南も生徒数減は避けられないはずなのに新築というのは、青谷に統合か一貫校を迫るのは指導の一貫性もない。